

【新刊紹介】

南洋群島郵便史

—日本統治下の31年—

荻原海一 著

1914(大正3)年の第一世界大戦での日本海軍によるジャルイット(ヤルウト)占領から、1945年の第二次大戦の敗戦に至るまでの31年間における、日本統治下のミクロネシア郵便史を、500点を超えるカラー図版を配して俯瞰した著作である。著者(おぎわら・かいいち)自身が切手コレクターであり、切手収集・研究者としての立場から、旧南洋群島の郵便史を詳述している。

全体の構成としては、明治以来の日本人のミクロネシア進出や、日本占領前のドイツ時代にも触れ、第一大戦以降の軍事郵便、南洋庁の郵政および郵便制度、南洋交通、戦後処理を中心に叙述している。著者自身の前著『南洋群島の郵便始終』(平成10年、切手研究会)の成果を踏まえ、図版を増やし、全カラー化しており、充実した内容となっている。

図版の中には、多くの封書、葉書の表書きがあり、これらの郵便物を通して、南洋群島への移住

者の生活が様々に想像できる好著ともなっている。

中でも、大正12年11月に予定された皇太子殿下(のちの昭和天皇)のご成婚に際し、通信省が発行すべく準備した70万枚に及ぶ記念切手が、発行前の同年9月1日の関東大震災で焼失し、発行は中止に至ったにも拘わらず、南洋群島用として前もって船積みされたものの一部が南洋庁から返還されず、本来、使用されないはずの切手が内地宛てのパラオなどからの郵便物に添付されていた珍しいケースについての詳しい説明があり、まことに興味深い。

379ページの大著で、定価40,000円(別に送料450円)。

<中島 洋>

購入申し込み先は、

〒110-8691

東京・上野郵便局私書箱110号

切手研究会

振替口座 00110-1-56531

風速換算表

太平洋学会事務局

mph	knot	mps	mps	mph	knot	knot	mph	mps
30	26.1	13.4	15	33.6	29.2	20	23.0	10.3
40	34.8	17.9	20	44.7	38.9	30	34.5	15.4
50	43.4	22.3	25	55.9	48.6	40	46.0	20.6
60	52.1	26.8	30	67.1	58.3	50	57.6	25.7
70	60.8	31.3	35	78.3	68.0	60	69.1	30.9
80	69.5	35.8	40	89.5	77.8	70	80.6	36.0
90	78.2	40.2	45	100.7	87.5	80	92.1	41.2
100	86.9	44.7	50	111.9	97.2	90	103.6	46.3
120	104.3	53.6	55	123.1	107.0	100	115.1	51.4
140	121.6	62.6	60	134.2	116.6	120	138.1	61.7
160	139.0	71.5	65	145.4	126.3	140	161.1	72.0
180	156.4	80.5	70	156.6	136.1	160	184.2	82.3
200	173.8	89.4	75	167.8	145.8	180	207.2	92.6
220	191.1	98.3	80	179.0	155.5	200	230.2	102.9
230	199.8	102.8	90	201.4	175.0	210	241.7	108.0
240	208.5	107.3	100	223.7	194.4	220	253.2	113.2

mph = miles per hour (時速 1,609 メートル) knot = 時速 1,852 メートル mps = meters per second (秒速)